元気のでるまちづ の心がかよう、

ため持てる全てを傾け町政執行に当たる決意を述べました。町政3期目の折り返しの年を迎え、多くの人々を魅了し、住みたくなるまちづくりの平成28年第2回栗山町議会定例会で椿原紀昭町長が町政執行方針を示しました。

とつなぐ大きな責任があり るさと栗山」を確実に次代へ を迎える私には、大切な「ふ 私の描く「思いやりの心が

かよう、 まい進いたします。 の決意と情熱をもって全力で りを!」の実現に向け、一層

5 新たな三本の矢を放とうとし ミクス第2ステージ」 おいては未だ不透明感があり は未知数であり、 ております。 れ、経済成長の推進力など、 まだ、その成果 地方経済に が掲げ

私たちのかけがえのない 急速に

国政レベルでは、 元気のでるまちづく アベ

「ふるさと栗山」も、

町政3期目の折り返しの年 抱えております。 しかし、町民の皆さんと歩

ちづくりを展開してまいり 指す「発展の時」として、ま 策を放ち、さらなる高みを目 テージ」に、 さんと取り組む「5つのス た3期目の本年は、町民の皆

をベースに策定した「栗山町 人口ビジョン」および 「栗山町第6次総合計画」 「栗山

進行する人口減少・少子高齢 社会など、多くの地域課題を

情報」が行き交う道は、希望 のと確信しているところであ ある未来へと向かっているも む栗山新時代の「ひと・もの・

「結実の期間」と位置付け 一つひとつの施

を推進してまいります。 り、感謝の心をもって、 培ってきた「栗山力」「共生力」 合戦略」を踏まえ、これまで 町まち・ひと・しごと創生総 「町民力」の3つの絆力によ

町政

歩みをさらに進め、新たな夢 突き進んでまいります。 を実現する次のステージへと 町民主役の夢と希望あふれる り、「5つの基本目標」を掲げ、 新年度の町政執行に当た



栗山町第6次総合計画



るふるさとづくり子どもと若者が「躍動」す

新しい時代を切り拓き、

が魅力を感じ、「子育てのま 境の充実を図り、若い世代 来を創る主役はいつの時代も ふるさとづくりが必要であり ち・くりやま」にふさわしい 域ぐるみで、子育て・教育環 子どもと若者であります。

ふれるまちを目指すため、 27年9月に宣言しました。 環境の充実、 援事業計画」 代への支援、 む教育の推進などに取り組み 期栗山町子ども・子育て支 その重点施策として、「第 子どもたちを育 若者・子育て世 に基づく子育て

健康寿命延伸のまちづくり宣言 町民一人ひとりが、健康で笑顔あ

若者が「躍動」するふるさと づくりを進めてまいります。 まちの将来を担う子どもと

2 ふるさとづくり 「健幸」で笑顔があふれる

活の質を高めていくことが必 会参加を推進し、 別にかかわりなく積極的な社 を超えております。 の平均寿命は、男女とも8歳 で心身の健康づくりなど、 超高齢社会における我が国 地域ぐるみ 年齢、 性

> 連携した認知症総合事業など 委員会の設置、関係機関等と 備・検討する町民参加による 宣言」に基づく生活習慣改善 保健・福祉・介護の一貫した の推進、 「健康寿命延伸のまちづくり その重点施策として、医療・ 将来の医療環境を整

の形成を目指し、 を持てる、心豊かな地域社会 てまいります ふれるふるさとづくりを進め して輝き「健幸」で笑顔があ この超高齢社会に生きがい 生涯現役と

満ちたふるさとづくり創り・つながる「活力」に

ります。 出するなど、魅力を創り地域 屋台骨を支えてきた資源や、 の再生を図ることが必要であ とつながる経済の好循環を創 さまざまな潜在力がありま 栗山には、これまで経済の 人が集まり、 地域の産業

向けたプロモーション活動、の構築、若者・子育て世代にの策定、新たな観光推進体制 4期栗山農業ルネッサンス」 その重点施策として、

などに取り組みます。 ン」による地域振興策の推進

業の魅力と求心力を高め、 たふるさとづくりを進めてま り・つながる「活力」に満ち ります。 豊かな実りをもたらす、 創

栗山都市計画マスタープラン

るさとづくり 人と自然が「共生」するふ

に取り組みます。

ります。 会を構築することが必要であ 環境資源の活用など、 と豊かな自然に恵まれており のモデルとなる自然共生型社 ます。この自然環境 栗山は、次代に誇れる歴史 の保全、 道内外

教育の推進などに取り組み 増大、新しい試みの自然環境 保全活動等の町民参加機会の 温暖化対策の推進、 その重点施策として、 自然環境 地球

生」するふるさとづくりを進 めてまいります。 できるよう、 栗山の自然を持続的に享受 人と自然が「共

の心かようふるさとづくり町民の絆が織りなす「感謝」

帯の輪を大切に日々の全ての 感謝こそ暮らしに安心感や充 地域のつながりは、 町民連

> 要であります。 課題に対し、地域の町民力を 少子高齢社会という構造的な 足感を与えます。 解決していくことが必 人口減少

に向け、 世代が町政に参加できる機会 ミュニティ活動等における支 づくりを進めてまいります。 気のでる魅力的なまちづくり の充実などに取り組みます。 感謝」の心かようふるさと 思いやりの心がかよう、 その重点施策として、 広域行政の推進、多様な 町民の絆が織りなす 元 コ

概要を、 基本目標に沿って申し上 計画」におけるまちづくりの 「栗山町第6次総合 本年度の主要施策の



土曜授業

ア教育推進事業に取り組み

生中長期計画」を策定してま

「栗山町自然環境保全・再

活動を引き続き支援するとと 年団など地域スポーツ団体の

もに、施設の長寿命化を図っ

てまいります

小中高一貫ふるさとキャ

格取得を支援します。

ます

栗山高等学校生徒の各種資

また、

自然環境の保全・再

ります。

生活動の主体となる町民の参

▼スポーツセンター

-の施設設

加機会の増大と担い手づくり

を推進してまいります

栗山水泳プ 備を整備します

ルの上屋シ

トを改修します。

さらに、

ハサンベツ里山や

生涯学習活動の事業を推進し 団体と連携し、 推進するとともに、関係機関・ び むことができる環境づくりを てまいります。 健康で充実した生活を営 幅広い世代の

> 関・団体との連携による、ふ ラ教育・環境財団など関係機

るさと教育を推進してまい

化に親しむ環境づくりを進め

術家と連携し、

町民が芸術文

文化連盟など関係団体や芸

夕張川などの教育資源を活用

公益財団法人コカ・コー

□芸術・文化

また、

学力向上などを目的とする特別授 業で、栗山町では平成26年度から取り組んでいます。

□生涯教育

生涯にわたって豊かに学

学校における読書環境づくり ともに、図書館司書を増員し、 利用者目線を重視すると 図書館につきまして

> 計画を策定します。 自然環境保全・再生

中長期

の約束

保存・保護を推進してまい

を推進してまいり、貴重な文化財の

るとともに、

自然環境教育やふるさと体

ます **公るさとづくり**

処理体制を確立してまいり もに、将来的に安定したごみ みの再資源化を推進するとと 今ある豊かな自然環境を守 未来に引き継ぐため、

ます。 けた取組を推進してまいりなど、地球温暖化対策に向 生可能エネルギーを導入する また、 太陽光を利用した再

総合防災訓練 災害に対する意識の向上を図るた め、年に1回、避難訓練や各種講 習などを行っています。

□ごみ処理

最終処分場の延命を図るた

の広域焼却処理をはじめ、 体制を確立してまいります 来にわたり安定したごみ処理 の減量化を推進してまい また、 ごみの再資源化や排出量 2市4町によるごみ

将

ごみ 分別の徹底を図り

最終処分場の延命化を図り

□環境・エネルギー 地球温暖化対策を推進する

ため、 ど、環境にやさしい取組を進 抑制等を行うため、 めてまいります。 テムの設置助成を継続するな また、 住宅用太陽光発電シス

引き続き調査を進めてまいり 地球温暖化対策実行計画(区 域施策編)」 の策定に向け 「栗山

今年の約束

する町内事業者を支援し

住宅用太陽光発電システム 設置助成を行います。

♥防災

啓発および技能の向上を図っ に基づき、 てまいります め、「栗山町地域防災計 町民の生命・財産を守るた さまざまな自然災害などか 町民の防災知識の普及、 防災訓練等を実施

施設の停電対策などを強化し 体制の確立を図るため、 てまいります。 時協定の締結拡大および避難 また、 災害

温室効果ガスの排出

再生可能エネルギー ・を導入

り

▼総合防災訓練、 災訓練を行います

町民の安全・安心の確保

▼交通安全施設の整備を進め

会を実施してまいります。 や町民を対象とした救急講習 揚を図るとともに、各事業所 査察を通じて、

部ポンプ自動車を更新

災害時における初動

まいります。

関・団体と連携し、 また、

▼スポーツセンターに非常用 電源設備を設置します。 冬季合同防

かつ的確に対応できる設備の 各種災害発生時に迅速

また、広報活動や火災予防 防火意識の高

関・団体と連携し、 以生活安全

みによる防犯体制の強化を 運動推進協議会など関係機 地域ぐる

□消防・救急

ます

南空知4町の広域消費生活

相談を行います。

充実や体制の強化を推進して

ます。意識の高揚を図ってまいり 悲惨な交

欺被害の未然防止に向け消費 図ってまいります。 充実および啓発事業を推進し 者協会と連携し、 さらに、悪質商法や特殊詐

てまいります。 ラ年の約市

·栗山消防団第3分団第

交通安全協会など関係機

防犯協会や暴力追放

人々が輝く

町民誰もが生きがい

充実した人生を送ることがで

のある

進してまいります び活動できる環境を整え、 場で生涯にわたって豊かに学 んなで支える栗山 をはじめとする、 きるよう、学校・家庭・地域 さまざまな の教育を推 み

尊重し、 まいります 以下、 教育施策を推進して 教育委員会の方針を

□学校教育

ともに、 教育環境づくりに取り組むと 栗っ子が夢と希望を持てる 確かな学力を育む、

▼歴史的建造物の検討会議を 設置します。

☑国際・地域間交流

質の高い介護福祉士を養成し

てまいります。

コミュニティ・スクー

ルを

通学合宿を行います 「家読」に取り組みます

また、

競技力の向上を図る

体育協会やスポーツ少

土曜授業を本格

実 施

☑自然環境教育

集対策を推進するとともに、

展開してまいります。

図書館司書を増員します。

家族で読書を楽し

せ

境づくりを推進してまい 術に応じた生涯スポー ラブなどと連携し、年齢や技 理者や総合型地域スポーツク

ツの環 り

協働し、栗っ子の読書活動を

設や自治体と連携した学生募

につきましては、

介護老人施

基づき、

読書ボランティアと

ロスポーツ

ツ推進委員、

指定管

どもの読書活動推進計画」

に

さらに、「第2次栗山町子

立を図ってまいります。

また、北海道介護福祉学校

個に応じた学習指導体制の確

を推進してまい

ります。

験プログラムの充実を図り

アノロの発行を行

います。

成を図るとともに、角田市と 事業など次代を担う、たくま 交流を推進してまいります。 青年の国内研修などの地域間 の子ども交歓のつどい、 しい実践力のある青少年の育 少年ジェット希望の翼派遣 勤労

事業を行います 少年ジェット希望の翼派遣

ふるさとづくり健幸に暮らせる

役の地域社会の実現を目指し てまいります。 幸で生きがいを感じ、生涯現 わたり自分らしく暮らし、 町民一人ひとりが、 生涯に 健

育てするなら栗山」 どもたちを安心して生み育て 子どもたちの笑顔が輝き、「子 られる子育て環境を整備し、 きるまちづくりを進めてまい また、 まちの将来を担う子

の約束

開拓記念館特別展示と広報

相談窓口の



また、森林が持つ多面的機

森林組合と連携し、

に基

□商工業

てまい

主体的な取組を支援するな

▼新たな観光推進体制

の構築

を図ります。

栗のブランド

化を推進し

商店街の賑わいを取り戻す

沽動を展開してまい

ります。

て世代向けのプロモー

ション

り 適

次期計画の策定を進め

▼計画的な町有林管理と民有

林の整備を支援します。

続するとともに、

若者・子育

▼農業基盤整備事業を行

V

場における特産品の販路開拓

海外からの観光客

進するとともに、

東アジア市

ます。

る農地の

流動化を促進し

また、

栗のブランド化を推

栗のブランド化

様な担い手の育成や生産基盤

農地中間管理事業などによ

を図ってまいります

た新たな観光推進体制の構築

の調査研究を進めます

ICTを活用した農業技術

ルネッサンス」に基づき、

多

町名の由来でもある栗を活用し て、新たな地域ブランドづくりを目指しています。

最終年度を迎える栗山町農

ます

生産法人などの誘致を図り 農業の担い手の育成や農業

□観光・交流産業

潜在的な観光資源を調査

関係機関・団体と連携し

業振興計画

「第3期栗山農業

ともに、

産業力を底上げす

まいります。

スを策定します。

る雇用環境の充実を図って

的な観光事業を推進すると

な地域資源を活かした戦略

また、誇れる歴史と豊か

産業が連動し、

力強く成長

基幹産業である農業と各

ふるさとづくり賑わいと活力ある

する経済社会づくりを進め

てまいります。

世界も注目している「さらさらレッド」

に向けた支援を引き続き行

町内商工業者の経営安定

てまいります。

7年の約束

まちの駅「栗夢プラザ」

0)

運営を支援します。

の約束

力ある街づくりを推進してま

4期栗山農業ルネッ サン

を図り、 を推進してまいります。 ひとりの健康管理意識の醸成 生活習慣の改善活動 に基づき、

企業や団体等と連携 □児童福祉

また、

体の健康を支え守るまちづく

町民みんなの力で、

心と

りに取り組んでまいります。

成事業を行います 中学生ピロリ菌検査費用助

▼健幸都市モデルの調査研究 ▼成人高齢者歯科検診を行い

ケアラーサポーター訪問事業 一人暮らしの高齢者世帯やケア ラー (無償の介護者) などへの訪問を今年から行っています。

を進めます。

☑地域医療 町民の安心な暮らしを守る

会を設置してまいります。 今 準の維持に努めるとともに、 機関・団体と連携 医療供給体制を確保するた 後の医療環境の整備に向 町民参加による検討委員 地域医療協議会など関係 南空知の基幹病院で 医療水

援を引き続き行ってまい ある栗山赤十字病院への支

の約束

「健康寿命延伸のまちづく

援を行います 栗山赤十字病院に対する支

ります。 育て支援事業計画」に基づき、 る環境づくりを推進してまい 細やかな支援事業を実施する 引き続き子育て家庭へのきめ 安心して子育てができ

成や、 域ぐるみで温かく見守るまち 談機能の充実を図るなど、 関する総合的な情報提供と相 づくりを進めてまいります。 また、 妊娠・出産・子育てに 子育て支援の意識醸 地



「第1期栗山町子ども・

昨年、移転オープンした「子育て支援センター」

▼医療環境町民検討委員会を

設置します。

☑高齢者福祉 開放など、

総合事業移行に向け、 まる介護予防・日常生活支援 関等との協議体を設置してま ります また、 平成29年度からはじ

ます。

事業を行います。

図ります 移動子育てサロンの充実を

ター事業の利用促進を図り ファミリ サポ

▼子育て支援センタ 利用拡大を図り の日曜

推進するとともに、 第6期栗山町高齢者保健

ティ

ネット支援を行 ター

(1

在宅サポ 図ります。

· 等 セ

ラ

ます。

▼認知症施策の拡充を図 ŋ

介護予防 日常生活支援

の約束

□地域福祉

家族、

地域、

民生委員児童

ます。

係機関・団体等と連携し、

高

委員や社会福祉協議会など関

齢者や障がい者などの積極的

の連携を含めた地域包括ケア 支援の充実および医療・介護 と連携した認知症総合事業を に基づき、新たに関係機関等 福祉計画·介護保険事業計画」 システムの構築を目指してま ります 在宅生活

関係機

ます。

総合事業への移行を進め

ター

セン

社会参加を図り、

見守り・支

え合う地域社会づくりを進め

てまいります。

▼ケアラーズカフェ

の拡大を

□障がい者福祉

基づき、 協議してまいります。 議会において、 的なサービスの充実について 立と社会参加を促進する総合 祉計画・障がい福祉計画」 4次栗山町障が 障がい者自立支援協 障がい者の自 い者 に

▼障がい者等 ます の充実に向け協議を進め でがい者等への支援体制

移住・定住に向けたPR活

積

また、交通アクセスなど機

▼くりやま若者シティ モーション事業を展開 プ 口

動を行います。

極的な企業誘致活動を展開 能的立地条件を活かした、

雇用の創出を図るととも

☑雇用環境

季節労働者の通年雇用化を促 知通年雇用促進協議会による 提供を行うとともに、ハロ など就業機会の拡大や、 就業希望者へ積極的な情報 ク専門員による職業相談 南空

積極的な企業誘致活動を展

開します

進してまいります

会を開催します 南空知3町合同の職業相談

季節労働者の資格取得支援 などを行います

ふるさとづくり 快適でやすらぐ

これまで築き上げてきた、 世代

誘致を進めてまいります。

さらに、移住促進事業を継

いります。 ど高い潜在力を活かし、 を超えてふるさと栗山の魅力 都市基盤や豊かな自然環境な



□行政経営

地域コミュニティ活動の活性化を 図るため、現在、9つのまちづくり協議会が設置されています。

地域の活力の向上および持 「栗山 町

年の約束

ます。 N P O

します。 る新たな活性化事業を支援 町民団体の連携・協力によ

まちづくり協議会

ふるさとづくり

ともに、

好評なふるさと納税

多様な世代が、

推進してまいります。 地域住民自らの発想と創意工 行財政運営および広域行政を 地域経済に対応する効果的な 夫により地域課題の解決を図 地方創生が加速化する中、 りを進めてまいります。 町民の総力で挑む地域づ 人口減少や低迷する

整備を計画的に進め、

安全 1

リティ強化に向けたシステム

な情報管理に努めてま

り

ます。

また、

自治体情報のセキュ

を踏まえ、 基本条例」 対策を引き続き講じてまいり 税等の滞納者に対する厳正な のさらなる促進、不誠実な町

さらに、

続き取り組んでまいります。 よる行政事務の効率化に引き さらに、 広域行政の推進に

します。 栗山町地域再生計画を策定

自治体情報セキュリティ強 活用を図ります ふるさと納税制度の戦略的

化を図ります。

道や近隣市町との連携事業

を推進します

□情報共有と町民参加

を進めてまいります。 栗山の歩みを後世に残す取組 ページなどを活用し、 情報共有を図るとともに、 町民と

ッチボイスの運用など、 まちづくり懇談会や 社会資本の老朽化に対応す

□道路・交通

ビスを提供する道路環境およ 安全・安心で快適な生活サ び除雪体制の充実を図ってま るインフラマネジメント戦略 の転換を進めるとともに、 ます らせるユニバー また、 快適な住環境づくり

世代の移住者への住宅支援を 推進するほか、 継続してまいります。 に向けた支援や空き家対策を

関係機関へ強く要請してまい

ります。

路の整備について、

引き続き

国・道が管理する道

いります また、

▼曙団地の建て替えを進め ます

▼若者・子育て世代の移住者 空家等対策協議会を設置し への住宅支援を行います。

住宅助成事業

□上・下水道

栗山町水道ビジ 水質環境の保全およ 彐 \geq に

ます

融雪剤散布車を購入

線歩道新設を行

います

共和線舗装および朝日18号

改良を行います。 湯地継立線・

杵臼本線道路

コミュニティバスの実証運

います

施設の適正な維持管理および 命化計画」に基づき、下水道

および

「栗山町公営住宅等長

□住宅・住環境

「栗山町住生活基本計画」

的な公営住宅の建て替えを進 社会の形成を図ってまいり 寿命化計画」に基づき、 めるなど、誰もが安心して暮 サルな地域

若者・子育て

実感できるまちを創出するた

日常生活の利便性向上と

さらに、質の高い暮らしを

を行います。 人にやさしい

コミュニティバス

を循環しています。

まいります

高齢者などの買い物や通院の移動

手段を確保するため、町内市街地

地域公共交通の確保を図って 超高齢社会の課題に対応する

基づき、 の安定供給を行ってまいり進めるなど、良質な水道水 び計画的な水道施設の更新を

また、 「栗山町下 水道長寿

計画

場機器を更新します 更新します 下水道管理センター

ます。

□河川

更新するほか、

本町のランド

老

て、 治水対策や落差工改修につい 適正な維持管理を行うととも してまいります。 国・道が管理する河川

を促進してまいります

の浚渫を行います。

度の見直しを進めてまいりに、合併処理浄化槽整備制経営の安定化を図るととも

引き続き関係機関に要請 0)

化槽制度への移行を進め 町の管理による合併処理浄

倒木除去や樹木伐採など、

境と調和 ける自然河川づくりなど、 また、ハサンベツ地区にお したモデル河]川整備 環

ります

▼多良津川・角田幹線排水路

ストを行います

□街なみ・景観

▼老朽水道管および桜山浄水

-機器を

ープラン」に基づき、

を図ってまいります。 朽化した公園遊具を計画的に 長寿命化計画」に基づき、 ふれる景観資源の保全・活用 に基づき、 てまいります 機関への要請を引き続き行っ な整備計画の策定および関係 域振興策を推進するととも また、 さらに、「栗山町公園施設 新町地区における具体的 「栗山町景観計画」 個性豊かで魅力あ

▼新町地区都市再生整備計画

を策定します

整備を推進してまいります。

ークである御大師山の周辺

継立中学校の 行います 南部公民館の敷地内整備を 跡地活用を図

▼新たな工業団地の造成を行

くりやま景観フォ います トコンテ

・老朽化した公園遊具を更新 します。

目指し、 **|指し、「栗山都市計画マス||魅力ある都市空間の創出を||**



□コミュニティ活動

ある地域社会の実現を目指 とする地域づくりを進めてま ります。 町民の連帯感の醸成と活力 町民の主体的活動を基調

支援します まちづくり協議会の活動を

の活動を支援

続的発展を目指す、 地域再生計画」 を策定すると

広報くりやまや町ホ

年 であります。 合戦略を本格的に推進する本 度は「地方創生実行元年」 全国の自治体が、 地方版総

地方に住んでいる私たち 確かに厳しい現実に直面

全開に進んでいく必要があり 断力とリーダーシップをもっ 「くりやま創生」に向け、 に未来を好転させる、明るい しております しかし、ピンチをチャンス さらに活性化エンジンを 決

「ふるさとは栗山です。

胸に、 てる全てを傾けてまいる決意 みたくなるまちづくりに、 して暮らすまち」の実現に向 多くの人々を魅了し、 「誰もが笑顔で、 安心 持 住

とご協力を心からお願い申し 議員の皆さんの一層のご理解 町政執行方針といたし 町民の皆さん、

であります。 この郷土愛あふれる言葉を 終わりに、

上げ、

各地